



# 令和3年度の決算を審査する「決算特別委員会」を開催

## 決算特別委員会Q&A

委員長  
副委員長

杉田一男  
片股敬昌

9月定例会では、村長から提出された「令和3年度決算」の審査を行うため、決算特別委員会が開催されました。「予算の使い方は適正かつ効率的であったか？」次年度の予算編成に生かすため、審査を行いました。委員からどのような指摘・要望があったのか、その一部をご紹介します。

### 【寄付金】

**問** ふるさと納税の額が令和2年に比べると若干減っている理由は。(清水)

**答** 令和2年度については、新型コロナウイルス感染症対策に使うための項目を設けていたが令和3年度は、その項目がなくなったため。(財政課長)

### 【人件費】

**問** 令和3年の残業代というのがどのぐらいあるのか。(清水)

**答** 令和3年度においては普通会計の職員の合計でおおむね8,000万円という状況。(総務課長)

### 【航空路開設推進費】

**問** 参与からの情報を収集して有効に使っているということだが、航空路特別委員会のほうでそういった情報があまり流れていない。この1年、参与の方からの情報というのはあったのか。(清水)

**答** 令和3年度も継続して、航空路や航空機について専門的なアドバイスをいただき、村の航空路の開設に対してどのような考えを持つのか等の検討をしたところ。(浅賀)

### 【バス事業】

**問** 令和4年度から1年間のバスの定期券と1日券を安くしたがその推移というのは今どうなっているのか。(清水)

**答** 9月28日現在で8名。ここ十数年来、最も、多い利用となっているところ。1日乗車券についても、8月まででおおむね20万円程度の売上げとなっている。

(産業観光課長)

### 【診療所事業運営費】

**問** 委託料が2,000万円ほど上がっている理由は。(清水)

**答** 医療用の新しい検査機器等の保守委託の部分で費用が増えている。

(医療課長)

### 【診療所事業運営費】

**問** シルバーピアの運営及び生活協力員の需用費124万円の内容が実はよく分からない。(安藤)

**答** ワーデンの方に毎月10万円の報酬でお願いし、各入居者の方に何かがあった場合、また日々の生活のアドバイス等をお願いしている経費。

(村民課長)

## 村議会として、令和3年度小笠原村一般会計及び特別会計歳入歳出決算を認定

決算特別委員会からは特に以下の点を指摘し、令和3年度決算についてはすべて認定すべきと議長に報告しました。

### 決算特別委員会からの指摘事項

- ・村所有の施設・住居・物品・車両等は、引き続き適正な管理を。
- ・各基金はそれぞれの目的に従って、適正かつ計画的に運用を。
- ・庁舎をはじめ村所管施設の省エネルギー対策を。
- ・将来の財政負担を意識しながら慎重な財政運営を努めてほしい。

この委員会の報告を受け、本会議において採決を行い、すべて認定しました。

## 一般会計決算

歳入総額	60億2,249万9,394円
歳出総額	57億7,748万8,400円
歳入歳出差引残額	2億4,501万994円
執行率	93.6%

## 特別会計決算

歳入総額	13億5,632万2,176円
歳出総額	13億5,582万3,714円
歳入歳出差引残額	49万8,462円
執行率	---

特別会計には国民健康保険や簡易水道事業、介護保険など、合計8の特別会計があります。

村の決算の詳細は、小笠原村役場ホームページでも確認することができます。

### 【清掃費】

**問** 前年が1億2,000万円ほどの委託料で、今年度が、支出済額が1億4,400万円だったがどういう要因があったのか。  
(清水)

**答** ごみ処理委託で約9,000万円。こちらについては燃料費等、包括委託にしている関係で、前年度より増えている。ほかに減容試験場の管理、清掃法に基づく点検、危険木の伐採等が委託料に含まれている。(環境課長)

### 【給食事業費】

**問** 令和3年度は 補食給食できなかった理由は。(清水)

**答** かなり余力のある事業者でないと、通常業務を行いながら補食給食に対応することができない。そこに応じていただける事業者さんがなかなか見つからないところ。  
(教育課長)

### 【硫黄島関連】

**問** 不用額が353万円ぐらい、執行率80%残っていて、遺骨収集などで重機類を扱っているかと思う。こういうお金を補正して、重機を扱うための資格を取らせる等できないのか。(安藤)

**答** 遺骨収集本体の参加者の方と、そういう機械類を操作されるオペレーターの方の参加区分を分けており、重機のオペレーターの方には作業の委託という形で、参加をしていただいております。オペレーターの育成費を現状では考えていない。  
(総務課長)

# こんなことが決まりました

令和4年第3回定例会  
9月12日、13日、30日

- ✓ 小笠原村村税条例等の一部を改正する条例
- ✓ 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例  
育児休業の取得回数制限の緩和・産後パパ育休制度の新設  
育児休業を取得しやすい勤務環境の整備等（会計年度任用職員含む）です。
- ✓ 職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
- ✓ 小笠原村職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例  
職員の定年延長に伴う定年年齢の改正です。
- ✓ 小笠原村職員の再任用に関する条例を廃止する条例
- ✓ 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
- ✓ 職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
- ✓ 令和4年度小笠原村一般会計補正予算（第2号）  
新型コロナウイルス感染症対策に係る経費・世界自然遺産関連事業・保育園運営事業・予防接種事業・診療所運営事業等の増額分です。
- ✓ 令和4年度小笠原村介護保険（保険事業勘定）特別会計補正予算（第1号）
- ✓ 令和4年小笠原村介護保険（介護サービス事業勘定）特別会計補正予算（第1号）
- ✓ 小笠原小中学校改築工事（体育館棟（電気））請負契約の締結
- ✓ 小笠原小中学校改築工事（体育館棟（機械））請負契約の締結
- ✓ 送配水管取替工事（村道沖村3、8号線）請負契約の締結
- ✓ ロシアによるウクライナ侵攻を非難する決議（提出者：片股敬昌 賛成者：稲垣勇）

令和4年2月24日、ロシアがウクライナへの軍事侵攻を開始してから、既に6カ月以上が経過したが、未だにウクライナへの攻撃は止まず、多くの無<sup>むご</sup>辜の市民が犠牲になっている現状は、決して看過できるものではない。ロシア軍によるウクライナ侵攻は同国の主権及び領土の一体性を侵害し、武力行使による現状変更を認めないという国連憲章に違反する行為であり、国際秩序の根幹を脅かすもので断じて許されず、厳しく非難する。

よって本村会議は、今回のロシアによるウクライナへの侵攻に対し、抗議するとともに軍の即時撤収、国連憲章の遵守を強く求める。

令和4年9月30日（提出者：片股敬昌 賛成者：稲垣勇）

# 一般質問

## 築館俊一議員



### コロナ感染者拡大の要因について

**築館議員** コロナ感染者が島内で多数発症している。水際対策を再考いただけないか。

**総務課長** 7月以降、村内でも多くの感染者が発生している状況にあり、竹芝棧橋での乗船前のPCR検査で陽性反応とならなかったにも関わらず、村内において感染が判明する事例もたびたび発生している。原因としては、東京都をはじめ国内で爆発的に感染者が増加している事、また現在主流とされるオミクロンBA.5株の感染力が従来株に比べ高いこと、時期的に比較的多くの村民、来島者が本土との間を行き来していることなどが大きく関わっている。基本的な感染対策の徹底を中心に、引き続き村民の皆様、来島される皆様に感染防止のお願いを続ける。

### 母島静沢の分譲地について

**築館議員** 母島の住宅が少ない現状と旧都住に住む島民の新しい居住環境を整えるためにも分譲計画について時期を含む説明をお願いしたい。

**財政課長** 令和3年度中に買収が完了した。今年度については、現状測量を実施するとともに、敷地の活用について、本年10月以降に母島の各団体や島民の皆様から何らかの形で要望を吸い上げ、考え方をまとめていく。その考えに基づき、令和5年度に造成の基本設計、令和6年実施計画、令和7年度造成工事を実施し、令和8年度には販売できることを目標に準備していく。

## 片股敬昌議員



### 職員の働きやすい環境づくりについて

**片股議員** 2018年に働き方改革関連法が成立し、労働時間の見直しや働きやすい環境づくり等が求められている。村職員の年次有給休暇取得の現状は。

**総務課長** 新型コロナウイルスの発生により業務の増加、長期休暇の自粛により減少している。

**片股議員** コロナウイルスのような大きな問題が持ち込まれ、住民対策及び支援にあたる職員は大変な心労があると思う。現在の体制で対応できているか。

**総務課長** 一般的な感染対策の他、医療現場での対応、ワクチン接種、国の給付金や村独自の支援等の業務が増えており、各部署の創意工夫等で何とか平常業務に対応しており、決して余裕のある状態ではない。

**片股議員** 職員には子供・家族と触れ合う時間をもっと取ってもらいたいと思う。育児・介護しながらも、周りの職員に負担なく働ける環境になっているか。

**村長** 小学校就学前の子の育児、介護を行う職員には勤務時間をスライドさせる「早出遅出勤務制度」や育児を行うための「部分休業制度」、介護のための「介護時間制度」等を整備しており、仕事と家庭の両立を支援している。

**片股議員** 日頃村長が職員たちに求めていること、大切に心掛けていることは。

**村長** 職員一人ひとりが実力をいかんなく発揮し、伸び伸びと働ける環境づくりを副村長や各所管課長とともに引き続き取り組んでいく。

## 清水良一議員



### 高校島留学（高校の魅力化）について

**清水議員** 小笠原高校を魅力ある高校にすることは重要課題、定員割れすることが予測される年には、島留学（島外生徒受入れ）を再度検討すべきではないか。

**村長** 島外生徒の受け入れを積極的に行うという考えはない。

**教育長** 今後数年、在籍生徒が70人を超える見込み、村立学校の生徒が希望通り小笠原高校に入学できるよう尽力したい。

**清水議員** 島根県海士町の島前高校では、町が公営塾や寮を完備し学力を上げ、高校の魅力化を図っている。公営塾等の施策の検討をお願いしたい。

**村長** **教育長** 子供たちが皆行きたくなるような魅力ある高校にしていくために今後、高校と相談の上、魅力化のための努力をしていく。

### GIGA スクール導入後の状況について

**清水議員** 導入後の効果や自治体によるフォローアップなど継続的に改善を続けていく必要がある。現在の活用状況、今後の活用方法及び計画は？先生の働き方改革での活用は？夏休みでの活用事例は？

**教育長** 活用状況については、小学校では週3回以上使用が62% 中学校では90%となっている。ICT 支援配置事業として本土から講師を招きアプリやツールの操作方法、具体的な活用方法、教員へのアドバイスを行っている。働き方改革では「島しょ教育DX推進協議会」で検討中。夏休みでの活用事例はない。今後考えてみたい。

**清水議員** 小笠原の教育が魅力ある世界のモデルになるようなグローバルな教育を目指していただきたい。

## 安藤重行議員



### 小笠原村津波避難計画の現状の課題について

**安藤議員** ①津波の根本課題は発電所が低地にある事。発電所の移転の具体的対応策は②小学校が避難所指定されている為、わざわざ低い場所へ迂回し避難させるのは不合理。直ちに検証し訂正すべき。③防災計画で命が助かる為の手段は、教育・啓発・訓練や避難ルートマップは地域毎にきめ細かな対応が必要。計画を実行し訓練結果の検証をして計画に反映するとあるが実態は。

**総務課長** ①移転先の確保が難しく、現設備で高い位置に移設の工夫と防潮堤等の整備については都の支援をお願い中。②移動する道路が限定されるので一部下り坂は浸水想定区域まで下がることはないが、危険とのご意見を受け今後表示方法を考えていく。③訓練実施時は検証・改善点の確認や防災会議等で意見を聴取。訓練や社会環境の変化による改善点を検証し次に反映させ、実際の災害に対応できるよう準備をしている。

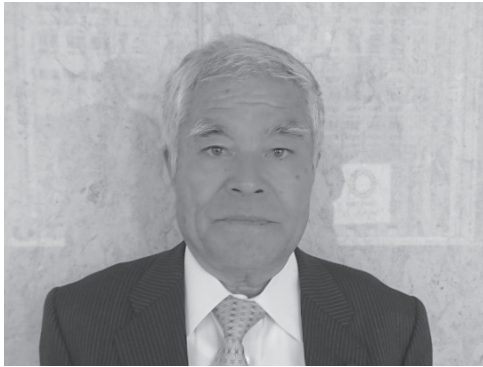
### 65歳超雇用推進助成金の取組みについて

**安藤議員** ①制度の法改正が2022に実施。定年齢引上、定年廃止、再雇用で70歳までの継続雇用の他、様々な制度が示された。活力ある村作りに貢献すべく村も何らかのアクションを起こすべきでは。

**産業観光課長** ①高齢者雇用の推進など様々な労働者のスキルアップを目的として事業者が国が助成を実施。村の経済活性化の観点から効果があると考えている。所管労働行政者に周知いただくよう働き掛け、各事業者支援に繋がるように努めて行く。

# 一般質問

## 稲垣 勇議員



### コロナウイルス感染症について

**稲垣議員** 島民が上京し、帰島するにあたりPCR検査で陽性になった場合の対応について、当然おがさわら丸に乗船できない。定住、拠点がない島民の場合どう対応したらいいのか。又、他県で感染してしまった時はどうすればいいのか。

**総務課長** 竹芝栈橋で乗船前のPCR検査は、村内での感染拡大防止するための実施事業である。この事業は小笠原海運により、乗船者に検査キットの配布、検査結果によって乗船の変更手続きなど、検査センターでは検査が集中する状態でも優先的に検査を実施し、結果を届けていただき、東京都総務局においては陽性反応となった方への連絡やその後の対応の案内、又、国立国際医療センターにおいては村民の確定検査をしていただくなど、本事業には多くの機関、これに携わる方々のご協力で実施ができています。又他県を含め上京中に感染されて療養や行動については、地域を所管する保健所が指示することとなっている。

**稲垣議員** 多くの関係機関の方々に村民の安心安全を頂いている事を感謝する。年金生活の高齢者や、子供を連れた家族の方々が感染者となった時、定住、拠点をもたない村民は、竹芝栈橋近くに宿をとり一日でも早く島に帰りたい、その時相談するところは村であり連絡事務所だと思うが村長の答弁を。

**村長** 村民が困っているとき手助けをすることが村職の事務であり出来るだけ意向に添っていききたい。

## 杉田 一男議員



### 災害時に於ける停電対応について

**杉田議員** 災害時の停電については毎回起こる事だが事前の対策により必要最小限に抑える対応、例えば多くの原因は樹木の接触等による場合が多く平時から支障木の予防策を講じている訳だが更に範囲を拡大した処理は出来ないか。地権者との講義等の更なる協力を得る対応を執行部として考えてほしい。

もう一つの有効的な対策としてすでに一部の地区で実施されている無電柱化事業だがその後この事業の進捗について進んでいるのか、いずれにしろ村として島民が安心、安全に暮らせる街作りに責任のある対応をしっかりと取り組んでほしい。執行部の考えは。

**村長** 電力の確保は村にとって大きな課題である。事前にできる対策についても電力事業者と協議しながら進めていく。また無電柱化事業についても東京都に於いて自然災害に備える方策として「島しょ地域の無電柱化整備計画」が策定された。今後共電力会社や東京都に対して村として更なる要望活動や協議等を含めたしっかりとした協力態勢を実行していく。

**杉田議員** 最後にこの問題は村として直接介入出来ない事はわかりますが対応よろしく願いしたい。また次の事項を改めて要望しておく。一点目は停電発生に対し復旧見込み等の情報を防災無線で小まめに放送できないのか。二点目は無電柱化事業が策定されたが今後の進捗状況等の情報提供を村民だより等で広報できないのか。被害者にとって電気は不可欠である。村の今後の積極的な取り組みをお願いする。

## 総務委員会 9月13日

安藤重行委員長

清水良一副委員長

### 新型コロナウイルス感染症対策

令和4年6月の委員会以降の国・東京都・村の対応などについて報告を受けました。

### 令和5年度小笠原諸島振興開発事業概算要求

小笠原諸島振興開発事業の村が実施する事業にかかる概算要求の内容、金額について、確定額の報告がありました。

### 小笠原諸島世界自然遺産

関連する主な会議のスケジュール、愛玩動物の適正な飼養及び管理に関する条例（ペット条例）、小笠原ネコプロジェクトについて報告、質疑がありました。

## 硫黄島調査特別委員会 9月13日

片股敬昌委員長

杉田一男副委員長

令和4年6月の委員会以降の硫黄島に関する動きについて報告がありました。

### 遺骨収集帰還事業

▶通年実施している滑走路地区の掘削作業、遺骨収集作業等のスケジュールについて報告がありました。遺骨収集は4回実施する予定の2回目を行う予定。

### その他の報告

- FCLP空母艦載機離着陸訓練
- 海上自衛隊訓練のHRS訓練、LCAC訓練
- 硫黄島連絡会議の報告  
など

## 小笠原航空路開設推進特別委員会 9月13日

杉田一男委員長

稲垣 勇副委員長

令和4年6月の委員会以降の航空路開設推進に関する動きについての報告がありました。



## 「敬老大会に思う！」

今年御長寿者100歳を超えた方が表彰された。小笠原では初めてのことでと思うが、本当は昨年本土の施設に入られている方が101歳になられたのでそこから始まっていたのかもしれない。今年で45回目の敬老大会は昭和52年から始まったと記憶している。その年、返還後最初の100歳の御祝をさせていただいた。岸円蔵先生はラドフォード提督学校の先生でした。なかなか厳しい先生だったと伺っていました。百寿記念にお写真を撮らせていただきたいとお伺いした時、凛として又矍鑠とされてベッドにお座りになられて写真を取らせ頂いた時、後光が指しているような大変畏まった記憶がある。お二人目は母島赴任中の稲垣伝助さんです。稲垣勇議員のお父様です。とてもおっとりとしてやさしい方で、笑顔しか記憶に出てこない方です。全国離島ゲートボールの佐渡大会へ一緒に参加しました。母島では令和2年に鈴木チカさんが百寿を迎えられました。昨年父島では金川美代さん大平京子さんのお二人が小笠原尋常小学校の同級生での百寿を迎えられ、民宿乳房の御母様です。そして今年父島の吉田チャさんと母島の佐藤茂雄さんが百寿を迎えられ、表彰状と記念品等を授与されました。大変おめでと

うございます！百寿を迎えられた皆様とお話をすると、お元気でこちらがパワーをいただいているように感じます。一世紀【100年】を生きるということの重みを！考えて見て下さい。とても素晴らしいことだと思います。百年の記録が残りたいものです。また、米寿を迎えられた、沖山ルリ子さんと小野寺七郎さんが受賞記念式典に御出席いただきました。今年の米寿を迎えられた方々は総勢10名おられたようですが、式典では御名前を披露され、表彰状と記念品等はご自宅に届けられたようです。

また70歳以上の方々は、敬老祝い品としてコシヒカリ米が配達されました。コロナで式典のみの開催となりましたが、父島では小学校の3年生に南洋踊りを踊ってくれました。かわいくて孫とも重なり目がほころんだ瞬間でした。子ども達はコロナ禍のため、歌を歌いながら披露することができず、大平京子さん村長の歌に合わせて踊りました。式典のなかった母島では豪華な手作りの祝善(弁当)が届けられたようです。これからも元気な長寿の村であるように、コロナに負けない楽しい村民生活を送って行きましょう！

安藤重行

## 令和4年第4回定例会会議日程表（予定）

月 日	開始時間	会議名	内容
12月7日（水）	午前10時	本会議	会期の決定、一般質問等
12月8日（木）	午前9時	総務委員会	
	午前11時	硫黄島調査特別委員会	
	午後2時	小笠原航空路開設推進特別委員会	
	午後3時	本会議	議案審議

本会議、各委員会は傍聴できます。開会5分前まで傍聴受付を行っています。  
またテレビ11チャンネル、小笠原村公式サイト内ライブ配信システムで中継放送を行っています。  
ぜひご覧ください。



## 会議での発言内容など詳しく知りたい時は、会議録をご覧ください。

- 村役場議会事務局
- 地域福祉センター図書室
- 母島支所
- 母島村民会館図書室

で閲覧できます。

パソコンやスマートフォンなどで見ることもできます。

小笠原村公式サイト→議会事務局→会議録で



## 編集後記

今年7月より、村内において多くのコロナ感染者が発症しました。内地ほどの医療体制が整っていない中、一人が発症するとその周辺で濃厚接触者や感染者が増え、保健所も対応に追われる毎日となっております。

おがさわら丸乗船前にPCR検査を受検したにも関わらず、入港後に村内において発症する事例が多く起きており、基本的な感染対策の徹底を防災無線により、行っている所であります。島民の皆様におかれましても、引き続き基本的な感染対策の徹底をよろしくお願いいたします。コロナが沈静化するまでは、気を緩めずにコロナに負けないよう頑張りましょう。

住宅が少ない現状を打開するため、村では住居環境を整えるために分譲地の販売を計画し、売却した敷地の活用について各団体、島民の皆様要望や質問、ご意見をまとめ、その意見に基づき、なるべく早く販売できることを目標として準備を進めております。

分譲地の購入を希望される方は、この機会に村へのご意見をよろしくお願いいたします。

★議会だより編集委員

安藤重行 清水良一  
築館俊一

